

飛驒トンネル水力発電設備の完成

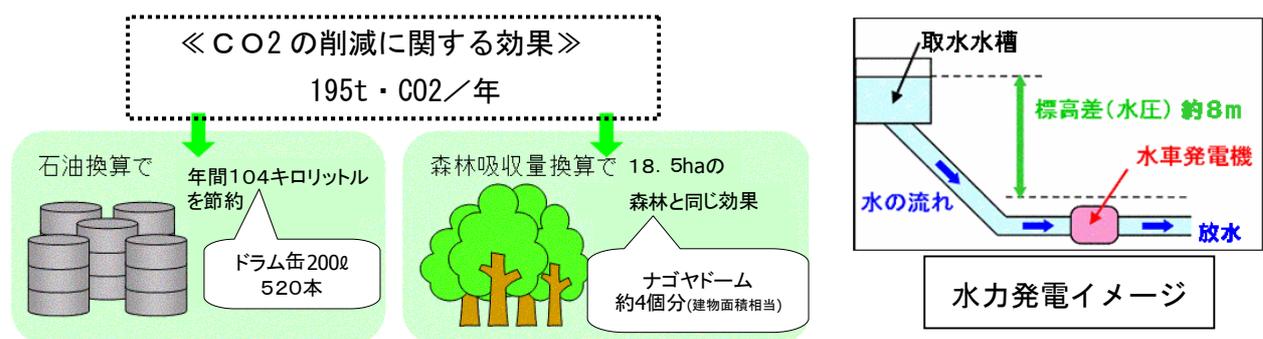
平成21年9月18日に、ご報告させて頂いた飛驒トンネルの水力発電設備の完成についてお知らせさせていただきます。

- NEXCO中日本では、東海北陸道 飛驒トンネルにおいて、トンネルからの湧き水を有効利用した水力発電の整備を進めてまいりました。
- 飛驒トンネルの湧き水は、ごく一部をトンネル非常用設備の水源として利用しています。
- 湧き水は近隣の庄川に放流しており、この湧き水を有効利用して、水力発電を実施するものであり、発電した電力はトンネル照明などへ供給して、CO₂排出量の削減による環境負荷の低減に役立てます。
- 発電する電力量は約50KW/時間を予定しており、年間で約41万KWhの購入電力節減になり、飛驒トンネルの年間使用照明電力の約30%の節減(約400万円/年)になります。
- 水力発電はNEXCO中日本として初めての取り組みであり、「高速道路関連社会貢献協議会」の協力により工事を実施してまいりました。
- 今般、工事完成の目処が立ったことから、『完成披露式』についてお知らせするものです。

【完成披露式】

■日時 2010年12月13日(月) 11:30

■会場 東海北陸自動車道 飛驒トンネル 白川側坑口(電気室前広場)



庄川への湧き水の放水状況



発電機室(完成イメージ)



水力発電設備(イメージ)